

3年生 学年だよ！



● 「男女共生学習」のふりかえり

10月24・27・28日の3時間、3年生は男女共生学習にとりくみました。

<1時間目>「ちがいのちがい」

→何気ない普段の生活の中で、男女の人権に関する「当たり前」と思っていることについて改めて考え、班やクラスで話し合い、その意見を共有しました

<2時間目>「LGBTQってなんだろう？」

→読み物「ありのままで生きる」(作・こうぶんこうそう)を読みながら、「LGBTQ」のことについて学習しました。当事者の苦悩や願いを知り、性には多様性があり、ありのままの自分の生き方を大切にすることや受け止めてくれる存在の大切さを学びました

<3時間目>「身体と心の性的指向ってどういうこと？」

→DVD「性的マイノリティ」を見ながら、身体と心の性的指向について学ぶとともに、性的マイノリティの当事者がどのようなことで悩んでいるのか？という生きづらさを考えました。まずは自分の性を大切に、そして互いに異なる性を理解・尊重することが、これからのよりよい社会には必要であることを学びました。

◎以下はみんなの感想文の一部です。しっかり読んで欲しいと思います。

<1時間目>

- ・クラスの中だけでも意見が分かれることが多かったから、これが世の中全体となるともっと細かく意見が出て分かれそうだった。
- ・人によって考えが一人ひとり違うんだと思った。だからみんなの考えを知ることが大切。
- ・男女はみんな平等だと思った。差別は良くない。
- ・「らしさ」を求められるのは苦痛に感じられることもある。
- ・男は黒や青、女は赤などという固定観念はなくして、色々な人がいるという考えを大事にしていきたい。

<2時間目>

- ・世の中には色々な人がいるけど、差別せずに平等に生きていきたい。
- ・色々な性を持った人が増えていて、日本でもこういった考え方が広まってきたんだと思った。LGBTQの人たちが自分の事を普通に話せるように周りが理解していくことが大切。

- ・さまざまな考え方の人がいることは良いことだと思う。
- ・人にはそれぞれ個性があり、どんな人でも受け入れることが大切。一緒に考えていけたらいいと思う。
- ・色々な考えの人がいるんだと思った。なので、ふざけて冗談で笑ったりすることなどは失礼だと思ったので、これからは意識していこうと思う。
- ・ヨーロッパとかはもっとこういうことが受け入れられているのに、日本はすごく遅れていると思います。もっと生きやすい社会になれ。
- ・こういう事を学ぶことによって、もっともっと性で悩んでいる人が差別とかを受けずに、楽に過ごせるようになって欲しいと思います。

<3時間目>

Q:「当事者は、日常生活などにおいて、どのようなことで悩んだり苦労しているでしょう？」

トイシ、制服(男子はズボン、女子はスカートと決められていること)、服装親・家族・友だちに本当の自分を出せない、着替え、社会からの目、人付き合い自分が間違っていると思ってしまうこと、いやがらせやいじめ、恋愛の話をしている時

Q:「誰もがいきいきと暮らせる社会をつくるためには何が大切ですか？」

- ・一人ひとりの気遣いと勇気
- 一人で悩みを抱え込まないで、信頼している人に話す勇気。あきらめたり、気持ちを押し殺してはいけないと思う。みんなが尊重し、平等に過ごすことが必要不可欠。
- ・LGBTQの人が「自分は変わっているんだ」と思わず、「普通なんだ」と思えるような社会をつくっていくこと。
- ・多数の意見が正しい、少数の意見が変だという傾向をなくし、少数の意見への差別がなくなる限り、性への差別もなくなる。大切なのは多数意見の人が少数意見を受け入れ、世界から差別がなくなること。
- ・一番はやっぱり理解者が増えることだと思う。もし周りにカミングアウトしたとき、今の日本では笑われたり、からかわれたりすると思う。けど、そう笑っている自分がそうなのかもしれない。やっぱり一人ひとりの気持ちはちがうから、わかり合って生きていくこと。
- ・一人ひとりの個性を尊重する。これが当たり前だって思わずに、自分とちがう人だっているとか、自分とちがうのが当たり前なのか、とにかく偏見だけで決めたりしない。
(裏面にはワークシートを掲載しています！)



ワークシート① ちがいのちがいに

1 ノリコさんは学校まで歩いて3分かかり、ヒトシさんは自転車です15分かかります。

2 将菜、マユリさんはプロのサッカー選手、アキラさんはシニアのテニス選手を夢見している。

3 トモコさんは洗濯の手伝いをしますが、お兄さんはしません。

4 女性は結婚すると夫の姓に変わることが多い。しかし、男性が妻の姓に変わることが少ない。

5 マサヤさんはカレーライスが大好きだが、ヨシコさんはあまり好きではない。

6 ヒロシさんは女性の先生の授業では、私語ばかりしているが、男性の先生の授業では静かだ。

7 カオルさんは学校の掃りが遅くなったため、担任の先生に送ってもらったが、ツヨシさんは一人で帰った。

8 ジュンコさんは将来結婚を夢見している。カオリさんは結婚しない予定がある。

9 女性の平均寿命は86年だが、男性は79年だ。

10 あるカラオケ屋さんでは、一時間の料金が、男性では1000円で、女性は500円である。

11 マラソン大会で、男子は15キロ走り、女子は10キロ走る。

12 小学校の先生には、女性が多いが、校長先生には男性が多い。

13 男性の給与を100としたら、女性の給与は70である。

14 学校のトイレは、男子用と女子用に分かれている。

15 ヒトシさんは「男は泣くもんじゃない」と言われるのに、ノリコさんは泣いても言われない。

16 ユミさんはスカートが好きだが、サキさんはスボンが好きだ。

今日の学習をふりかえって

ワークシート② LGBTQってなんだろう？

LGBTQとは、L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシャル、T=トランスジェンダー、Q=クエスチョニング（日本ではXジェンダーともいう）の頭文字をそれぞれ組み合わせた言葉（造語）で、性的マイノリティ（少数者）をまとめて使われる言葉です。

次のそれぞれの言葉の説明として当てはまるものを、1～8から選びましょう。

レズビアン	ゲイ	バイセクシャル	トランスジェンダー
クエスチョニング	アセクシャル	性的指向	アライ
1 男性を恋愛対象としたり、男性に性的魅力を感じる男性	2 どの性別を恋愛、性的魅力の対象とするのかということで、「セクシュアリティ」とも	3 女性を恋愛対象としたり、女性に性的魅力を感じる女性	
4 男性、女性の両性を恋愛対象としたり、両性に性的魅力を感じる人	5 自分の生まれ持った身体の性に違和感がある人。身体の性とは別の性を生きようとする人	6 LGBTを理解・支援する人のこと。例えば、周囲で「ホモネタ」で盛り上がっているような現場があれば、当事者は傷ついているかもしれないことを伝えたり、LGBTに関する勉強会を開くなどがある。こうした行いが居心地のよい社会につながっていく。	
7 恋愛対象や性的欲求を持たない人（無性愛者）	8 自分の性の認識や性的指向が定まっておらず、自分でもわからない人		

今日の学習をふりかえって

ワークシート③ 身体と心の性的指向ってどういうこと？

次の(例)は、Aさんが自分自身の「身体」の性別や「心」の性別、「性的指向」(どちらの性別を恋愛対象としたり、性的魅力を感じるか)の様子を表した図と、それについて説明したものです。(例)を参考に、1～2のそれぞれの人について説明してみましょう。



(例) Aさん

身体 男 女

心 男 女

性的指向 男 女

身体は男性で、自分は男性であると思っています。
女性に対して性的魅力を感じているので、異性愛者であると思っています。

1 Bさん

身体 男 女

心 男 女

性的指向 男 女

2 Cさん

身体 男 女

心 男 女

性的指向 男 女

日常生活などにおいて、どのようなことで困ったり苦労しているでしょうか？想像してみましょう！

誰もがいきいきと暮らせる社会をつくるためには何が大切ですか？